

10月31日(日)・大会2日目 9:00~10:30 (組織論レビュー【10】会場) (90分)

●組織論レビュー セッション【10】

「知識統合の理論と実践: I-P-O モデルをフレームワークとして」

* 王亦軒 (大阪市立大学大学院 経営学研究科 准教授)

* 代表報告者

[概要]

Grant の研究を引き金に、知識統合やその能力に関する研究に関心が集まり、この二十余年間で学術的に大きな進展を成し遂げてきた。しかし、組織知識、組織学習、ダイナミック・ケイパビリティなど多様な理論に依拠しながらも、統一的フレームワークを持たず、あいまいなままに研究が進んできた。また、知識統合のレビュー研究では企業の実践に与える影響をあまり重視して来なかった。

これらの課題に取り組むため、本研究ではシステマティック・レビューを行い、知識統合の I-P-O モデルを構築した。知識統合をプロセスと見なすことで、主要な先行要因、構成要素及び結果を探索した。また、統合プロセスの 2 つの次元を基に新たな 4 種の知識統合を提示した。

更に、本研究では実務的論文雑誌の知見を I-P-O モデルに当てはめた上で解釈した。

[参加者へのメッセージ]

近年 IT 技術の急速発展に伴い、企業の競争はより激しくなっています。そこで、企業内部や外部の異なる知識を結合し、新しい知識を創造する能力(知識統合能力)はより重要となります。

組織の知識、学習や能力などの理論に関心がある方、企業のナレッジ・マネジメントに興味をもつ方は是非本セッションに参加していただければ幸いです。